

〔大城 勝議員 登壇〕

○3番 大城 勝君 一括して質問します。大きく分けて3つの質問をします。質問1. J Aファーマーズ南風原店周辺の交通安全確保を。(1) 国道507号から山川交差点を経由して、J Aファーマーズマーケット南風原店へ出入りする車両には、運転への注意を喚起したい。山川交差点は、車両の衝突事故が多い。関係機関への抜本的な事故防止対策が望まれるが、町はこの交差点の危険度をどのように捉えているか。(2) J Aファーマーズマーケット南風原店のオープンで、隣接する照屋地区集落への車の乗り入れが増えつつあります。J Aファーマーズへのアクセス道路に案内標識を設置し、車のスムーズな流れがつかれるよう関係機関と調整できないか。(3) J Aファーマーズ南風原店は、今後、町の経済活性化に大きく貢献していくと期待しています。町は道路行政力を駆使し、道路アクセスへの安全面を内外に強くアピールして欲しい。町の考えはどうか。

質問2. 公園のコンビネーション大型遊具の利用状況について。(1) コンビネーション遊具といわれる大型遊具が設置されている町管理の公園は何カ所か。その費用はいくらか。(2) 大型遊具の利用者数、利用者層などの利用状況はどうか。(3) 設置遊具の維持、安全管理はどのように行っているか。定期点検のためのマニュアルが作成されているか。(4) 大型遊具を利用する町民の声はどうか。

質問3. 町民の健康保持増進としてフォークダンスの活用を。(1) フォークダンスの「青い山脈」は沖縄で広く親しまれており、ほとんどの人が踊れるのではないかと思います。「青い山脈」を踊ることは、町民同士の交流のみではなく、健康増進につながると考えます。南風原町がフォークダンスで健康的なまちづくりに取り組んでいることを町内外に発信できないか。(2) 町の公民館学級講座に「健康づくりのためのダンス教室」を新設開講し、一般の町民にフォークダンス「青い山脈」などを普及できないか。(3) 町内の2中学校で、フォークダンスの「青い山脈」を授業の中に取り入れられないか。(4) 町の陸上競技大会などで、フォークダンスの「青い山脈」をアトラクションとして取り入れられないか。(5) 町内には、学校現場を退職し、地域で活動している人材が多いと聞きます。町行政はそのような人材を効果的に活用し、町民の健康保持増進を図るべきであると考えますがどうか。以上、答弁をお願いします。

○議長 宮城清政君 副町長。

○副町長 国吉真章君 それでは、質問事項1点目、J Aファーマーズ南風原店周辺の交通安全確保を。(1) についてお答えします。ご質問の交差点について、特に高速道路から下って右折する際に、私もヒヤッとした経験があつてまさにご指摘のこの交差点は非常に危険度が高いと思っています。そこで道路管理者である南部国道事務所維持管理班へ確認したところ、現状を認識しているとのことで、その対応策については検討すると返事を

いただいております。(2)と(3)は関連しますので、一括して答弁いたします。JAファーマーズ南風原店のオープンに伴い、照屋区の集落内道路へも車両進入などが起きて地域住民も困っている状況と聞いております。事業者であるJAおきなわとも調整の上で状況を調査し、来客者に対する交通規制看板や店舗の誘導案内板などの設置について検討をしております。

質問事項 2 点目、公園のコンビネーション大型遊具の利用状況について(1)にお答えします。大型遊具が設置されている町管理の公園は、本部公園、宮城公園、神里ふれあい公園の3カ所で、その遊具設置費用は工事費合計で約1億7,000万円となっています。

(2)利用者数については、常駐しての調査を行っていませんが、利用状況を確認した時点での利用者は、平日が10人から20人程度で、休日は40人から100人程度の利用がありました。特に遠足時には、本部公園や宮城公園は200人程度の利用がありました。利用者数については、ほとんどが幼児から小学校低学年生の利用者となっています。(3)についてお答えします。設置遊具の維持安全管理については、職員が3カ月ないし4カ月に1回程度、目視、触診を行い、ボルト等の変形や歪みがないか、部材の欠損がないかなどの点検を行っています。清掃班においては、公園トイレの清掃や草刈り時に、週一回程度目視による点検を行い、異常があれば職員に連絡を取り職員が再度点検を行い対応するようにしています。定期点検のための町独自のマニュアルについては作成されておりません。4点目についてお答えします。週末は家族での利用者が多く好評であります。また、まちメールにもいつも楽しく公園を利用させてもらっていただいておりますなどの声があります。以上です。

○議長 宮城清政君 教育長。

○教育長 赤嶺正之君 大城 勝議員の質問事項 3 番、町民の健康保持増進としてフォークダンスの活用をというご質問にお答えいたします。(1)でございますが、「青い山脈」の楽曲を踊り健康増進につなげることについてのご提案、ありがとうございます。しかしながら、本町では町の事業としてフォークダンスに取り組んでいないことからして、町内外への情報発信ということは難しいと考えております。(2)でございますが、町へ登録されているフォークダンスのサークルとして、「かすりレディスフォークダンスサークル」が活動していますので、新たな公民館学級講座の開講については難しいと考えております。(3)でございます。学校に確認しましたところ、南風原中学校では修学旅行前に2ないし3回程度「青い山脈」を練習しています。南星中学校では、ダンスの授業は生徒の実態に応じてリズムダンスを実施しています。そういうことでございますので、両中学校ともフォークダンスの「青い山脈」を授業の中に取り入れるという予定はないとのことでございます。(4)町の陸上競技大会の昼食時には、小学生男女混合リレーを行っております。町民皆さまからとても好評な競技となっていることから、それに代わるフォーク

ダンスの「青い山脈」をアトラクションとして取り入れることは厳しいものがあると考えております。（５）であります。本町では町学校支援地域本部事業に毎年約 400 名余のボランティアの方々が登録いたしております。小・中学校での授業やクラブ活動での指導を行っております。また、町体協の専門員、スポーツ少年団の指導員などに幅広い人材活用を行っております。今後とも引き続き幅広く効果的な人材活用に努めてまいりたいと考えております。以上でございます。

○議長 宮城清政君 3 番 大城 勝議員。

○3 番 大城 勝君 答弁、どうもありがとうございました。それでは、順次再質問をいたします。町民の期待を担って J A ファーマーズ南風原店が営業オープンしましたが、隣接する山川交差点を經由して J A ファーマーズ南風原店へ出入りする車両にとっては、事故防止への注意喚起を要する場所だと思っております。この交差点付近の交通事情の整備については、過去にも同僚議員が一般質問で取り扱っております。問題解決への困難さが伺えます。この山川交差点一帯は、交通量が多い上に歪な十字路の交差点を形成してしまっていて、それ故に過去に幾度も車両同士の事故が起きています。私はこの歪な交差点内での左折や右折のときの進行方向表示に、道路面を赤色とか緑色などといった色分けをする、いわゆるカラー化する特別な工夫が必要だと思っておりますが、先ほど答弁をいただきましたけれども、町行政にはこれといった工夫があればお答え願いたいのですがいかがですか。

○議長 宮城清政君 総務部長。

○総務部長 新垣吉紀君 答えいたします。先ほど副町長からもございました、この交差点の管理が南部土木事務所でございます。すでに議員おっしゃったように以前にも金城好春議員からもご質問がございました。やはり通行者の声も届けられているということで、現状認識しておりまして、近いうちに本町と与那原警察署の三者で立ち合いをして、議員がおっしゃるカラー舗装も含めて、そういったものは道路管理上カラーが適・不適が分からないのですが、より通行する車両が迷わず交差できるような方法を取ることと確認は取られております。そのへんを三者で協議をしてより良い方法を町としても提案していきたいと考えています。

○議長 宮城清政君 3 番 大城 勝議員。

○3 番 大城 勝君 どうもありがとうございました。良い協議ができるといいと思います。

では次に、J A ファーマーズ南風原店がオープンしたことによって、照屋集落内への車

の乗り入れ増加についてであります。ファーマーズが活性化してそこへのアクセス道路も整備されてくると自ずと車の往来も多くなってきます。照屋集落内を通り抜けファーマーズへとスムーズな車の流れになるよう案内標識も必要かと思えます。先ほど答弁いただきました。それに増加する車の往来に対応した交通安全上の対策も必要になるわけですし、町にはその交通安全への十分な対応も要望したいと思います。ファーマーズ店周辺を警察車両の定期的な巡回パトロール地域として関係機関へ要請できるのか伺いたいと思います。

○議長 宮城清政君 経済建設部長。

○経済建設部長 真境名元彦君 答えいたします。JAファーマーズ南風原店のオープンに伴いまして、道が分かり難いこともあろうかと思うのですけれども、照屋区の集落内にもファーマーズへ行くための車両が入ったりすることは聞き及んでおります。そういったものも含めまして、例えば今、県道に役場の案内表示、中央公民館、文化センターの表示板がございます。そういったものの案内表示板を今後、事業で導入していきたいと考えていますとともに、交通規制の看板関係や注意を促す看板関係も含めましてJAおきなわと調整いたしまして、行政の分野で設置する分、事業所で設置する分を協議しましてすみわけを行いまして今後整備していきたいと考えております。またそれに伴いまして、その周辺の警察のパトロールについても今後強化できるよう要請してまいりたいと考えております。

○議長 宮城清政君 3番 大城 勝議員。

○3番 大城 勝君 どうもありがとうございます。よろしく申し上げます。ところで、照屋区からファーマーズ南風原店方向への農道の1つに行き止まりになっている所があるのですね。そのまま進むと、車は行き止まり先でUターンして戻らなければならないのが現状です。手前の地点で行き止まりの案内標識版などが必要であり、町には調査して早めの対応を要望したいと考えますが、対応していただけるかお聞きしたい。

○議長 宮城清政君 経済建設部長。

○経済建設部長 真境名元彦君 照屋集落内から国道507号に向けて、既存の排水に沿うようにしてある町道が確かに行き止まりになっておりますので、サイン整備事業に入るまでに少し時間を要すると思えますから、仮にでも前方行き止まりという車を運転する方に周知できるように早急に対応してまいりたいと考えております。

○議長 宮城清政君 3 番 大城 勝議員。

○3 番 大城 勝君 どうもありがとうございます。次に、南風原町への道路アクセスの安全面のアピールについてですが、私は J A ファーマーズ南風原店のこれからの発展に大いに期待するものであり、多くの客に利用して欲しいと思います。J A ファーマーズを利用する町内外からの利用客や南風原を訪れる人々には、南風原町は安心・安全な道路網を完備している町と認識してもらいたいとの思いです。南風原町を往来する車両に対して、道路アクセスへの安全面を町行政としてどのようにアピールできるのか興味のあるところでもあります。大きな交差点付近では、交通安全の横断幕を掲げることもできますし、立て看板での安全運転へのお願いも考えられます。それから、兼城交差点には電光掲示板も設置されているいろいろメッセージが発せられています。他の交差点や車の往来の多い所ではどのようなようになるのか。南風原町を通過していく多くの車両の交通安全の面から、町はどのような交通安全行政を発揮していくのか改めてお聞きしたい。

○議長 宮城清政君 総務部長。

○総務部長 新垣吉紀君 おっしゃるように、十字路には LED の電光掲示板がございます。それにつきましては、これまで懸垂幕とかでお知らせしていたもの、ウェルカムボードと言いますか、ようこそ南風原町へというのもございましたので、その道路拡張とともによりいろんな情報が発信できるということで LED 看板を設置しております。それぞれ、町境界といいますか、那覇とか与那原町とか南城市の 4 カ所にもウェルカムボードは設置されていると思います。議員おっしゃるように、そのへんのものとも同調させるかどうか、今後どのように交通安全を発信していくかも含めていろいろな角度から検討させていただきたいと思います。

○議長 宮城清政君 3 番 大城 勝議員。

○3 番 大城 勝君 どうもありがとうございます。がんばってください。南風原は、とにかく交通アクセスですから、そこは大きなポイントですのでよろしくお願いします。

次に、公園の大型遊具の利用についてですが、多額の予算を投じて設置した大型遊具が、町民に効果的に活用され、その維持管理が有効になされているかを知りたく質問します。町内の公園数や大型遊具にかかる費用という私の質問の意図は、町管理の大型遊具類がそれぞれの公園に町民に地域公平性を保ち設置されているかを知りたくて質問しましたが、これから造られる津嘉山公園も含めて町全体を見回すとき、大型遊具の整備は配置や予算面からも地域公平性が保たれていると考えてよろしいか伺います。

○議長 宮城清政君 経済建設部長。

○経済建設部長 真境名元彦君 答えいたします。各公園に均等な、同様な金額の施設が設置されているかと言いますと、そういうことではございません。例えば各公園につきましてはいろんなテーマがありまして、例えば多目的広場に力を入れている公園、遊具に力を入れている公園とさまざまな課題を掲げて公園は設置してございます。そのなかで本部公園と宮城公園については、同様な公園になっていることから、大型遊具の設置規模についてもほぼ同様になっています。ただ、神里ふれあい公園につきましては、遊具関係の設置のスペースが小さいために、両公園よりは規模が小さい公園になっておりますけれども、その代わり外周関係にウレタン舗装を施したウォーキングコースなどそういった方面に力を入れて整備をしております。また、今年度から本格的に工事着工します津嘉山公園でございますけれども、こちらはメインの施設としては 9 ホールを二巡するかたちで 18 ホールのパークゴルフ場をメインとして整備を予定しておりますので、本部公園、宮城公園ほどの大型遊具の設置は今のところ実施設計の段階ではいたしておりませんが、一般的な遊具設置については計画してございます。その他の公園につきましては、その規模に応じた公園または利用するその地域の状況に応じまして設計を考えております。その都度の状況に応じての変化はあるということです。

○議長 宮城清政君 3 番 大城 勝議員。

○3 番 大城 勝君 どうもありがとうございます。それぞれの公園に見合った計画性のある公園づくりがされていると理解しました。

次に、大型遊具がどのような人たちに利用されているのか、どれほどの数なのかを知りたくての質問でしたが、人気度が高い遊具には利用者も殺到し、そこを訪れる利用者の駐車などで近隣の生活道路への影響も考えられます。町行政は、公園利用者には公園がある地域周辺への配慮も促すなかで、公園がある地域住民からも愛される公園活用の仕方を図るべきであるとするが、町の考え、思いはどうかお聞かせください。

○議長 宮城清政君 経済建設部長。

[「休憩願います」の声あり]

○議長 宮城清政君 暫時休憩します。

休憩 (午後 1 時 24 分)

再開 (午後 1 時 25 分)

○議長 宮城清政君 再開します。経済建設部長。

○経済建設部長 真境名元彦君 今ある町で管理しております都市公園につきましては、

確かに大型遊具も設置されたことから利用者数がかかなり増えております。特に週末であります土曜日、日曜日にはかなりの利用者の方々がおられまして、それに伴いまして駐車が路上に溢れて、一般車両の疎外にもなっていることも確認しております。それに伴いまして、その周辺に利用状況を知らしめる手立てについては、今の段階ではやってございません。それも一つの方法かとも思いますので、どういった方法で近隣の方々に現在の公園の利用状況、リアルタイムでお知らせすることも含めて可能なのかどうか検討させていただきます。また、できるだけ周辺の地域の方に迷惑をかけないように駐車場の不足につきましても、今後再整備等含めまして検討させていただきたいと思っております。

○議長 宮城清政君 3 番 大城 勝議員。

○3 番 大城 勝君 どうもありがとうございます。ご検討ください。

次に、設置遊具の維持・安全管理についてですが、遊具使用に関する安全管理は最優先に考慮されるべき事項であると私は考えます。大型遊具の利用者に守るべき事項を順守してもらうためにも、事あるごとに安全利用のための注意喚起が必要であろうと考えます。それから、大型遊具の点検のための町独自のマニュアルは今のところ作成されていないとのことですが、私は町としてのマニュアルを持つべきだと思いますがいかがですか。

○議長 宮城清政君 経済建設部長。

○経済建設部長 真境名元彦君 お答えいたします。確かに公園の遊具の維持管理につきましては、大変重要な課題だと考えております。それにつきまして、先ほどの答弁で申し上げました町独自のマニュアル作成はされていないとの答弁につきましては、遊具関係の管理は国土交通省が出しております都市公園における遊具の安全確保に関する指針、または一般社団法人日本公園施設業協会が出しております遊具の安全に関する基準とかそういったものが整備されておりますので敢えて町独自のマニュアル設置の必要性がないためにやっていないということですね。申し上げた 2 つの指針及び基準に基づいて遊具の点検をいたしているということでございます。

○議長 宮城清政君 3 番 大城 勝議員。

○3 番 大城 勝君 安全管理はきちんとやられているのだと理解します。次に、利用者の声を拾うことについてですが、今後の公園策定事業のためにも公園を利用する町民の声を拾うことは大事だと思います。公園現場に出かけて行って、利用者の町民と接し、生の声を拾い上げることをしている役場スタッフがいることを聞き、その職務に励んでいることを評価したいと思います。現場の声を拾い上げようとする心のもち方は、当然に大型遊

具の維持・安全管理にもつながるわけで、ひいてはこの大型遊具が町民に愛され大いに利用されてくることにもなります。大型遊具が大いに利用されてはじめて遊具の存在意義も高まり、町の公園行政も評価されると思います。私は南風原町が健康的で安心して子どもを育てられる町だということを公園に設置されている大型遊具利用をとおして良いイメージをしてもらえるものだと思います。それ故、町内外に遊具の維持・安全管理がしっかりできていることを発信する必要があると考え質問しています。町民、取り分け子を持つ親にとってこの大型遊具のある公園は利用評価が高いとみています。これからも町には立派な公園づくりに励んでいただきたい。ここで町長には、南風原町の公園行政の考え方、思いをお聞かせ願いたい。よろしく申し上げます。

○議長 宮城清政君 町長。

○町長 城間俊安君 町の公園への思い、また大人の広場ではなく子どもたちも皆が遊べるような遊具も設置すべきだという思いで、そうすることで大人からも喜ばれる、そしてまた小さな園児も喜ぶ、となればお年寄りも大人も子どもも皆が喜べるような公園づくりが一番大事だと思っております。先だって、孫と一緒に「はえるん公園」に行ってみました。ちむぐくる館隣にあり、遊具は小さいのですが2歳、3歳の子どもたちが遊べる公園です。この2歳、3歳の子たちが左右に歩いて行っても目配りができ、安全であります。大きな子たちが遊べる遊具、小さい子たち向きの遊具では異なっているので、これは良かったと思っております。ぜひこのようなものも考えて、2歳、3歳の子、5歳、6歳の子向きの公園というようにあったほうが良いなという、このように私たちも声を聞いたかたちで今後も進めていく。またうちの担当の皆さん方も常日頃から声を聞き、遊具の点検もし、皆が安心・安全でふれあえるようにやっていますので、私もまたそのように指示をし、激励していきたいと思っております。

○議長 宮城清政君 3番 大城 勝議員。

○3番 大城 勝君 どうもありがとうございました。私も孫が4名おりますので、町長と同じ考え、気持ちです。まだ小さいですからそこまではいかないのですが、来年、再来年あたりには、先の答弁のなかではできませんでしたが先の黄金森公園隣の公園は「はえるん」とネーミングされたのですか、そこを利用したいと思います。私の持ち時間は、あと18分残っています。次が、私のぜひ言いたい、この4カ年で言いたいことの1コマです。

次に、町民の健康保持増進としてフォークダンスの活用ができないかについて再質問します。4、50年前、フォークダンスに興じた世代は、今では中高年齢層の中核を担っている団塊世代です。私もそのうちの1人です。南風原町の高齢者の人口割合を平成27年度版



の「ハイさいよ～さん」で見えますと、団塊世代の65歳、66歳が75歳、76歳になる10年後の高齢者率は実に20パーセント、5人に1人が高齢者です。高齢者の中核にある団塊世代がいかに健康的に人生を送ることができるかは、これからの高齢者対策を考える上で重要なカギを握っているはずで、ところで、学校行事の運動会での集団演技として、「青い山脈」などのフォークダンスが多くの学校で行われてきました。沖縄県では若い世代にも学校でフォークダンスを踊ったという人は多くいます。50年前の私の時代には、フォークダンスを踊るとき、初めて握る異性の手を照れ隠しのためにあたかも嫌であるかのように振りほどいたウーマクの男の子たちでした。それでもどうにか短い木切れ棒の両端を互いに持って学校ダンスをしたものです。多感な青春時代において、木切れ棒を介してしか異性の手を握れなかった世代からすれば、現代の子どもたちは開け過ぎでしょうが、中高年齢者にとってはわくわく感のある気持ちを心の片隅に秘めていると思います。このワクワク感、ウキウキ感の意欲を持つことが、健康で長生きするには大事なのだと思います。そうだという声が聞こえています。世の中、わが南風原町でも、ダンスと言うと昔の社交ダンス、暗いイメージですね。社交ダンスだと受け取られがちでまだまだフォークダンスが老若男女の町民に浸透していませんが、「青い山脈」のダンスと言うと、「ああ、あれね。」「昔は運動会で踊ったね」とか「恥ずかしかったけど、なにか楽しかったね」という声がほとんどです。町民に受けているこのフォークダンスの「青い山脈」を、南風原町の健康的なまちづくりのツールとして使えないかと考えますが、ここはまだ高齢者の域に届いていない国吉副町長にお聞きしたい。どうですか。

○議長 宮城清政君 副町長。

○副町長 国吉真章君 答えさせていただきます。勝議員の質問の趣旨について、しばらく本当に聞き入って、まさに同じ青春時代を過ごした一人として懐かしくと言うのですか、そのように思っておりました。まさに当時、確かに50年ぐらい前、内気で内向的で、男子は硬派が多くてダンスでしっかり手を握ると後で冷やかされたりいじめられたり、そういうことがあって、木切れ棒でやった覚えもあります。今後、町の健康増進につなげてのフォークダンスの復活をという発想を聞いて、フォークダンスイコール音楽を聴きながらリズムに合わせて体を動かす、それだけでも健康増進につながるのかなと思います。全町的に、こういう機会があって、これをマスコミが取り上げて、広く町内外に報道があれば、そういう面でまた一躍注目を浴びる、フォークダンスで町興しの南風原町をPRできるのかと思いますが、ことダンスについては得意な人もいれば不得手の人もいて、これからいろいろな階層の意見も聞きながら町でどこまで取り組めるのかいたします。ただ、趣旨は健康につなげるということですので、それについてはまさに行政に課せられた取組の一つであります。ダンスを通して健康づくり、あるいは別のかたちでの健康づくり、そのようにつなげていけるように今回のフォークダンスで健康増進の質問を受けて町も参考に

趣旨にかなえるように努力をしてまいりたいと思います。以上であります。

○議長 宮城清政君 3 番 大城 勝議員。

○3 番 大城 勝君 ありがとうございます。突然振ってしまって申し訳ありません。そうですね、ダンスと言うと何か照れくさいですね。現在の小中学校現場の教育環境は、生徒も教職員も多忙を極めており、昔運動会の集団演技で踊り楽しんだ時代とは一変しているとの声も聞きます。学校現場の多忙さとは、やるべきことが多くあるということでしょうが、ぜひこのフォークダンスの「青い山脈」を子どもたちに楽しませて欲しいと思います。

ところで、ダンスで町の活性化を図ろうと考えるとき、学校内でダンスを楽しんでいる子どもたちには、フォークダンスを地域に広げていく仕組みを作ればいいわけです。町主催の陸上競技大会や運動会などでフォークダンスの「青い山脈」をアトラクションとして取り入れればいいと思います。先ほどの答弁では、取り入れるには難しいとのことでしたが、このダンスは3分などなのですよ。10分も20分もやるわけじゃない、3分です。息を止めたらちょっと危ないかなという、それぐらいの時間です。入退場も数分とかかりません。アトラクションとして取り入れるに、時間的にはクリアできると思います。そのへん、教育長はどうですか。

○議長 宮城清政君 教育部長。

○教育部長 新垣好彦君 町の運動的な行事として陸上競技大会を挙げておられました。最初の答弁でも教育長からありましたように、時間的には曲は3分ぐらいだと思いますが、昼食時には役員も食事をして、グラウンドでは小中学生の各学年層に合わせてのリレー、またそれに携わるPTA役員の皆さん、そういうことでその時間帯はプログラムの難しいのではないかと思います。それから、時間的な問題ではなくて、そこでは皆さん競技を中心にやっていますので厳しいものがあるかと考えています。

○議長 宮城清政君 3 番 大城 勝議員。

○3 番 大城 勝君 厳しいところがあるということが全く納得できないのです。かわいいわが子、孫が出るとなれば、陸上競技場には子どもたちの両親や祖父母が来ます。陸上競技場でやっても少ないと、私は去年の議会でも取り上げましたので、その競技場の観客も倍には増加するはずですよ。再度、食い下がりますけれども、町長、いかがですか。

○議長 宮城清政君 教育部長。

○教育長 赤嶺正之君 ただいまの大城 勝議員のご質問にお答えいたします。陸上競技大会のアトラクションとして小中学生のリレーを行っているわけですが、やはり子どもたちのことをございますので、走る時間はそんなに長くないです。子どもたちを集めたり、ちゃんと役員が配置できたりするまでにだいたい20分から30分かかりまして、その時間帯がお昼時間のアトラクションということをございますが、同時にまたフォークダンスの時間帯を設けるとしますと、そうですね、やはりお父さんお母さん方、あるいは当時若かった皆さんにグラウンドのフィールドに集まってくださいと呼びかけをして、南風原町の特徴であります引込み思案の部分がありますので皆揃ったとしてもやはり15分ないし20分ぐらいかかると思うのですね。踊るのは3分ですが、そういったような準備等々で時間を要するというので、陸上競技大会のアトラクションとしてはあまり適さないのではないかと考えているところです。議員ご質問の趣旨からしますと、やはりこれは競技を中心とした大会ではなくて、レクリエーションを中心とした町民大運動会、あるいは老人、婦人運動会、そういったような催し物があれば、そのフォークダンスの演技なども適しているかと思えますけれども、現段階の陸上競技大会アトラクションとしては難しいところがあると感じているところです。以上です。

○議長 宮城清政君 3番 大城 勝議員。

○3番 大城 勝君 ご丁寧に、どうもありがとうございました。いつの日か採用される日を楽しみにしてここで終わりますけれども、町内には「かりゆし長寿大学校」で学んだ者たちが多く、大学校では「青い山脈」などのフォークダンスを学び楽しんでおります。地域の公民館や中央公民館では健康体操などに励んでいる町民もいっぱいおります。また、町内には、学校現場などを退職された有能な人材もおられると聞きます。町行政は、このような健康に関心の高い多方面の人材を活用して町民の健康管理が図れるようにして欲しいと思います。先ほどの答弁でもそういう趣旨のことを話しておられまして、ありがとうございます。私がフォークダンスとしての「青い山脈」にこだわりますのは、このダンスが男女2人1組のペアで、大人数で円陣を作り、踊りながらパートナーチェンジをし、多くの人たちと踊る相手を替え、踊ることを楽しむことができるからです。それに男性が参加するきっかけが作れます。どこの自治体でもそうですが、生涯学習活動に参加しているのは、ほとんどが女性の皆さんです。多くの男性の皆さんにもダンスを通して健康づくりに参加して欲しいと思います。この「青い山脈」などのフォークダンスをとおして異性と触れ合うことによってお互いを尊重する心、相手を思いやる気持ちも自ずと育まれてくると思います。わが南風原町の4万人近くの町内男女の協力意識は、ダンスのまち南風原を町内外に発信することで高まり、町民の融和もよりうまく図れると思いますが、町長にはダンスのまち南風原に対する思い、お考えがあればお聞かせください。

○議長 宮城清政君 町長。

○町長 城間俊安君 このダンスに対する思いというのは、私は素晴らしいことだと思います。「青い山脈」というのは、私たちが中学校の時に、視線を感じて指先だけしか触れないとかそういうこともありました。今では健康のためにいろいろな角度から、陸上競技場の話もありましたが、そうではなくて何かの催しのときにこういう 1 曲、2 曲を入れていくとか、そういう環境を作ることも大事なかなと思います。そうして触れ合うようなきっかけを作ることは良い発想ではないかと思っております。議員は同年齢ですので、その思いは強いと思います。特に勝議員より、大城真孝議員が一番好きだと、あの方は率先して練習に通っていらしたので。ですから、その年齢の人たちは皆、思いは共有できるものだと思いますので、その共通するものをどこかで波及できるような、またどういったものが波及効果は大きいのかも含めていろいろな角度から検討していくことも大事なのだと思っております。

○議長 宮城清政君 3 番 大城 勝議員。

○3 番 大城 勝君 教育長の答弁ではちょっと否定的だったのですけれども、町長のほうはわりと好意的に受け取って、検討されるわけですね。そのように理解して、私の質問を終わります。以上です。